

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 川津章弘	電話番号	0852-22-5132
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	しまね和牛生産振興事業		
目的	(1) 対象	畜産農家	
	(2) 意図	産肉能力の高い種雄牛の造成や育種価、受精卵移植等を活用した繁殖雌牛群を整備する。 また、畜産経営の規模拡大や子牛価格の安定について支援を行うとともに、しまね和牛の肉質向上やPRを行う。	
事業概要	「しまね和牛」について、市場での評価を高め、ブランド確立に向けて以下の事業を行い、肉用牛経営の安定を図る。 1) 能力の高い種雄牛を新規造成するため、直接検定や後代検定の実施する。 2) 繁殖雌牛の能力向上を図り、育種価分析を用いた肉用牛の改良を促進する。 3) 子牛価格の安定について支援を行うとともに、しまね和牛の肉質向上やPRを実施する。		
	(しまね和牛生産事業、畜産経営体支援指導事業)		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県有種雄牛産子の県内市場占有率	目標値		35.0	36.0	38.0	40.0	%
		取組目標値						
	式・定義 県内子牛市場における県有種雄牛産子上場頭数/総上場頭数	実績値		34.0				
		達成率		-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	50,522	39,431
うち一般財源(千円)	46,203	34,305

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>県内子牛市場における県有種雄牛のシェアは34%(H27)</li> <li>県有種雄牛産子と県外種雄牛産子の平均取引価格は、それぞれ651千円、675千円(上場上位10頭(島根2頭、県外8頭)の価格)</li> <li>しまね和牛肉の上物率(肉質4・5率)は65%(全国平均72%)</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>全国でもトップレベルの種雄牛「勝照茂」、 「久茂福」を造成</li> <li>県有種雄牛精液供給本数の増加 4,202本(H25)⇒7,180本(H27)</li> <li>しまね和牛肉上物率の上昇 H26: 59% ⇒ H27: 65%</li> </ul>
---

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他産地に比べて特色、強みのある種雄牛造成が必要</li> <li>H27までの取組により、繁殖雌牛の若返りは進みつつあるが、一層の“世代交代”が必要</li> <li>しまね和牛肉の特徴を掲げたPRができていない</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和牛生産を巡る産地間競争の激化</li> <li>子牛価格が高値で推移していることから、生産者の意識が雌牛の保留よりも、販売に傾斜している</li> <li>多くの地域、農場ブランドがあり、“しまね和牛”としてのPRが弱くなっている</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しまね和牛の特徴(体格、繁殖性、脂肪の質等)と肉質を兼ね備えた種雄牛の造成</li> <li>遺伝的に繁殖能力の高い繁殖雌牛の保留、増頭</li> <li>しまね和牛肉のブランド力を強化する取り組みの展開</li> </ul>

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲノム育種価や脂肪の質の評価を活用して種雄牛を造成する</li> <li>ゲノム育種価を活用して繁殖雌牛を評価し、保留を誘導する</li> <li>和牛肉の美味しさ指標等を活用した“しまね和牛肉”の新たなブランド戦略構築と展開を支援する</li> </ul>
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価(任意記載)

--